

第3回嬉野市教育委員会議（定例6月）

平成29年6月30日（金）10:00～11:45

嬉野市役所 塩田庁舎 3-2、3-3 会議室

1 開会

嬉野中学校に学校訪問に行き、教育委員会が学校を支え見守っているということをあらためて感じました。嬉野の子どもたちのためとなるように学校を応援したいという気持ちがわいてきました。これからの教育は学校と教育委員会がタッグを組んで進めていくことが欠かせないと感じています。

2 会議録署名委員 ○○委員 ○○委員

3 議題

（1）報告

①6月定例議会について

- （教育長）
- ・山口政人議員より道徳教育に関する質問がありました。検定教科書を使用することで思想統制につながるのではないかと懸念しての質問でしたが、人間としての生き方・あり方につなげる授業を行うことを答弁しています。評価についても質問がありましたが、相対評価ではなく絶対評価でその子の良さを見て伸ばしていくような評価の仕方を行うと答えています。
 - ・森田明彦議員からは消防設備に関する質問がありました。森田議員は数か所の学校を回って調査をされておりましたが、学校から報告を受けていた内容と議員が聞いてきたとされる内容にズレがあり答弁に戸惑った面がありました。学校に対しては火事や地震に対する対応の他に不審者対応についてもお願いしており、これはコミュニティなど地域と連携した取り組みをお願いしているところです。
 - ・芦塚議員からは歴史民俗資料館の活用についての質問があり、入館者数が年々増加していることを示しました。イベント等については常設の展示や年に数回展示会を開催するなど文化財の活用を行っています。歴史民俗資料館の保存文化財の活用について、とのことには小学生には資料館を利用した学習、2階の視聴覚室は市民の皆さんの学習の場となっています。
 - ・山下議員の佐賀の昔話を教育現場でとの質問については、学校で昔話について調査をして嬉野学として取り組んでいる旨や読み聞かせの中で取り上げている旨を答弁しています。
 - ・西村議員の教職員の労働安全衛生管理及び安全配慮義務については、小中学

校職員の労働状況が非常に問題視されているところですが特に中学校教員は部活動の関係で7月までの勤務時間が大変長くなっています。100時間を超える時間外労働がある場合は健康相談に行くように指導しています。部活動の見直しについては全県下での取り組みが必要と感じています。部活動の外部指導員導入について、県は今年度中に制度整備をするようです。

・辻議員からは学習指導要領の概要について質問があり、小中学校の大きな変更点を説明しました。小学校では5、6年生が英語が教科となり3、4年生からは外国語活動が始まります。中学校では400から600語英単語が増えます。小学校英語の現状と今後についてということについては、今後読む書くといったことが入ってきますと答弁しています。

中学校職員の勤務状況と部活動の今後の考え方については、小学校教員の時間外勤務が29.6時間であるのに比べ、中学校教員は70.3時間という統計上の数字を上げています。部活動については県下一斉の取り組みがないと進まないといった状況です。

・梶原議員は子どもの貧困対策についてでしたが、準要保護の認定のことを話しました。嬉野市では厳正な審査のもとで交付対象者を決定していることを説明しています。準要保護の中身については、国の基準に準じて行っており、新入生児童生徒の学用品費については今年度は4月3日に支払った旨を伝えていきます。

・山口要議員の引きこもりに関する質問ですが、小中学生は不登校はいますが引きこもりはないことを話しています。部活顧問の競技経験者と未経験者についての質問については、自分の経験も踏まえ必ずしも名プレイヤーが名監督ではないという説明をしたところでした。

校則問題については、いつ出来たものかはわからないと答えています。必要に応じて見直しをしているのかとのことには、状況に応じた見直しをすることで対応していると答えています。

(〇〇委員) ・子どもの貧困について、給食費の滞納がかさんでいる世帯には準要保護の申請を勧めるよう言ったことがあります。嬉野市の準要保護が1%から2%のことですがよその状況はどうですか。

(事務局) ・過去に調査した時は1割を超える市町もありました。〇〇市は25%のことで申請を出せばとおる市町もあり、不公平感があります。嬉野市では申請内容をきちんと審査し厳正な判断をしています。

(〇〇委員) ・中学校の部活動の顧問について、現状として子育て中の女性の教員が主顧問をされている状況はありますか。

(事務局) ・あります。

(〇〇委員) ・具体的にどうした方がいいという案はありませんが、検討していく必要がある

と感じます。

- (事務局) ・子育て中の女性教員も非常に才能を持っており、本人もぜひやりたいという意欲をもっておられるため、それを止めなさいということも無理があるのが現状です。これは管理職の強い指導によって行うしかないと思われませんが、いずれにしても県下統一した取り組みを行わないと実現は難しいと思われま
- (教育長) ・このことは外部指導員の導入が一つのチャンスになるかと思われま
- (〇〇委員) ・部活によっても温度差が大きいですね。熱心な部活はとても熱心ですがそうでもない部活はゆるいものもあります。熱心な部活は子どもも疲れています。
- (〇〇委員) ・県で統一化できない理由は何ですか。
- (事務局) ・教員の服務についての権限は市町教育委員会にあるため、県は市町でやっ
- (教育長) ・今度、県教育長と話す機会があるので部活動について提案してみたいと思っ

②その他

・不登校の状況について

- (事務局) ・中学生で30日以上が7人で内訳は3年生が5人、2年生が2人です。30日未満は10人です。30日以上の7人のうち1人は適応指導教室に来てそこから学校に行くようになってきています。また、1人は母親が適応指導教室の見学に来られましたが本人は出てきていない状況です。学校教員、相談員、スクールソーシャルワーカーのおかげでかなり効果があがってきており、例を言うと昨年142日欠席だった生徒が今年は適応指導教室から学校に行けるようになり欠席0日となっておりかなり改善されているようです。小学生は30日未満が5人ですが最大で欠席6日であり昨年度よりかなり改善されています。

・いじめの状況について

- (事務局) ・5月末現在五町田小で1件、これは登校班に係るものです。塩田小で1件、冷やかしかからかいといった内容です。吉田小で1件は3月の事案です。塩田中で1件、部活動での事案です。いずれも認知をしております。

・社会教育行事について

- (事務局) ・6月、7月の社会教育グループの行事について説明します。6月6日ことぶ

き大学は嬉野の高齢者講座で鹿島警察署の方に話をしてもらいました。9日は若返り大学で塩田の高齢者講座で行政書士会から来てもらいました。12、13日は体力測定を実施しており嬉野は53人、塩田は81人の参加でした。17日のサガン鳥栖嬉野デイは10,265人の観客動員数でした。冷茶の振る舞いなども行いました。26日の公民館運営審議会では嬉野と塩田の統一についての話をしました。明日7月1日は海の体験地引き網を予定しており子ども46人、大人26人が参加することとなっています。4日は心肺蘇生法講習会を消防署の方を講師と手実施します。10日の若返り大学は教育長に講師をお願いしています。

(2) 協議

・嬉野市教育委員会評価について

(事務局)

・嬉野市教育委員会の取り組みについて評価委員会で委員の方に評価をしていただくものであり、第1回目を7月19日に予定していてここで提案する内容について教育委員の方に確認いただきたく提案します。

学校教育課の評価シートですが、アクションプランに沿って作成しています。「(1) 確かな学力の育成事業」では主体的対話的深い学びを取り入れた「嬉野メソッド」を実践していこうということが一つです。次に学習指導要領が変わることに伴い、小学校の外国語活動と道徳の指導方法をどうするかの研究を行います。「(2) 豊かな心の教育推進事業」では嬉野学として地域学習に取り組むことを盛り込んでいます。「(4) 地域とともにある学校づくり推進事業」ではすでに地域コミュニティとの連携はできているのでそれをさらに充実させていくとしています。「(5) ろくさんプラン推進事業」は3年目ですので3年目のまとめをしっかりとやって次の計画づくりを行います。

「(6) 特別支援教育の推進事業」では早期支援コーディネーターの導入をすでにやっておりますが、今年度は国の事業を実施することになりそのことを盛り込んでいます。

・教育委員会の活動状況については、具体的施策の柱は変更ありません。

「(1) 定例教育委員会会議の公開性の拡大と充実」で市長部局の新採職員の研修の一環としての傍聴の依頼を加えています。「(4) 教育委員としての役割」に新教育委員制度へのスムーズな移行のために制度の理解を深めることを盛り込んでいます。また社会教育委員との相互理解を加えています。

「(5) 学校等と教育委員会との協働意識の高揚と課題の共有化」は教育委員と教職員と語る会のより一層の充実を図るため教育委員自らトーク会のグループに参加し意見を述べるとしています。「(6) 市長部局と教育委員会との関係」に市長部局に委任している生涯学習部門において、社会教育委員

との懇談会を実施し地域における社会教育活動等意見交換を行うと加えています。

・社会教育分野について、「(1) 図書館サービス推進」は変更はありません。「(2) 文化財の保存と活用」は文化財候補の調査、地域との連携、資料収集等を深め新指定文化財の発掘に努める、などの項目を加えています。

・「(3) 文化の振興と環境づくり」については、内容の変更はありませんが文章の表現を変えています。「(4) 次世代の担う青少年の育成」についても、文章の見直しをして修正しています。「(5) 生涯学習のまちづくり」についても文章を全体的に修正しています。「(6) 生涯スポーツ推進」についても見直しを行い、スポーツをして楽しむだけでなく、見て楽しむことについても盛り込んでいます。

(委員長) ・教育委員会の活動状況評価シートについての意見をお願いします。
(特になし)

(委員長) ・学校教育と社会教育の評価シートについての意見、質問をお願いします。

(〇〇委員) ・社会教育分野の図書館サービスで学校への配本とありますが、本来学校図書は学校に任せていいのであって、市の図書館が配本する必要があるのはどういことでしょうか。学校図書の予算がないからでしょうか。

(教育長) ・学校の図書費は 25 万円程度確保しています。その他 P T A からのお金で買うこともあります。

(※) ・学校現場としては図書館からの配本はあった方がいいと思います。図書館は新刊が揃っていて新しい物を読むことができよい制度と思っています。

(〇〇委員) ・学校への配本業務が図書館の業務として行うことがどうなのか疑問です。

(委員長) ・吉田小では学校の本の貸し出しは一人年間 200 冊ほどあっていました。図書館からの配本は各クラスの学級図書として教室に置かれ、さらに充実した読書を行うことができていました。配本図書はよい制度と思っています。

・教育委員会評価委員について

・いじめ問題等発生防止支援委員について

(教育長) ・教育委員会評価委員については、川上先生が 4 年、谷嶋さんが 6 年、中野さんが 8 年、中島さん 2 年、杉光さんが 3 年勤めていただいています。中野さんについては当初から携わっていただいておりますこれは熟知している人が入っていたがよいのではないかという考えから続けてきてもらっているものです。川上先生にはぜひ入っていただきたいと考えています。谷嶋さんがやや長くなられてきているところです。読み聞かせなど少年少女の健全育成に携わっておられる古賀さんに入ってもらうのはいかがかと考えています。

・いじめ問題等発生防止支援委員会については年に2回開催されているもので1番から6番までの方は平成24年11月からなので5年、7番と8番の方は平成26年11月からで3年勤めていただいています。5番の戸田さんは地域にお住いの警察関係者として入ってもらっていますが、今回は総務課の井手さんに市内在住でもあり入ってもらったかと考えています。

(全委員) ・いずれの委員会についても提案どおりで承認します。

(3) その他

- (事務局)
- ① 平成29年度佐賀県市町教育委員会連合会定期総会
6月30日(金) 14:00～ グランドはがくれ
 - ② 嬉野市教育委員会の学校訪問
7月11日(火) 13:30～ 久間小学校
 - ③ 平成29年度第1回嬉野市教育委員会評価委員会
7月19日(水) 13:30～ 3-2,3会議室
 - ④ 中体連 7月22日(土)、23日(日)
 - ⑤ 次回教育委員会
8月9日(水) 10:00～

※小学校英語活動推進員がお産のため退職されることになり、後任の方が就任されることとなりましたので報告いたします。

※歴史民俗資料館で「古代官衙^{かんが}の痕跡」として大黒町で出土された奈良時代の品の展示をします。

4 閉会

会議録署名委員
